

火ばら談義

「地域から学ぶ」

鈴木 真宏

「子どもやんしゃ」は、毎年区長さんをはじめ、日滝地域づくり推進委員会の方が講師として子どもたちと一緒に各地を巡る学習です。今年度は、本郷地区を知る学習でした。

本郷大塚古墳の見学では、古墳の前に「ただの小さい山だと思っていた」「お宝が入っていたなんて知らなかった」と目を丸くして驚く子どもたちの姿がありました。満龍寺では、本堂の中に入り、ご住職さんからお話を聴きました。本堂は歴史的に貴重な建物であるという話を聴き、特別に一人ひとりおみくじをひかせていただきました。蓮生寺でも本堂に入り、ご住職さんから「神様はたくさん宿っている」というお話を聴きました。話の内容を聴き洩らさないようにとメモを取っている子どもたちの表情は、真剣でした。最後に訪れた十王堂と高札場の見学をしました。十王堂には、地獄絵図があり、実際に中に入って見せてもらいました。



地獄絵図は迫力があり、子どもたちの表情は恐怖でこわばっているように見えました。「悪いことはしてはいけない」と改めて感じた子どもたちでした。また、十王の像も見せてもらいました。今は大切に守られている十王像ですが、昔の子どもたちが、川に流して遊んでいたという話を聴き、かつて十王像は、子どもたちにとって身近な存在だったのだと知りました。

「やんしゃ」の学習は実際にその場所に行き、話を聴くことができます。写真ではわからないお寺の境内の静けさや空気の冷たさ、ご住職さんや地域の方の思い、そして実際に見て触れて感じた昔から大切に守られてきた建物の重みは、子どもたちにとって大きな宝物になったと思います。地域に飛び出し、地域の方やものに触れることで、普段何気なく見ていた



カット 栗ガ丘小 堀田幸雄

ものの中に宝物がたくさんあることに気づける「やんしゃ」の学習は、日滝小の誇りです。(日滝小)

「30 days challenges」

兼橋 慶一

世界的講演会であるTEDでMatt Cuttsさんがある実践を発表しました。それは自分の人生に付け加えたいと思っていたことを三十日間続けるというものです。彼がこの実践をしてみたい習慣を身に付けたり習慣を断ったりするのに適した期間であるというものでした。私は彼の講演と一学期に学級で行った実践を照らし合わせました。

私の学級ではマイナスイメージが見つかると強く指摘してしまふことが気になっていて、友だちの良いところを見つける「ほめカード」という活動を毎日継続して行うことにしました。友

だちの名前と良かった言動を記入し匿名で教室に設置されている「ほめカードボックス」に投入し、その日に書かれたほめカードを帰りの会で発表しました。最初は「ほめカードをたくさん書きたい」という気持ちから同じようなほめカードがたくさん集まりました。しかし約二週間が経つと、担任の目からも見えていなくなった友だちの言動が細かく観察され、ほめカードという形で共有されるようになりまし。約一ヶ月が経つ頃、友だちの良いところを見つけては「先生、Sちゃんが掃除のチャイムがなった後も校庭のゴミ拾いをしていましたよ。」などと、私に嬉しそうに伝えてくれることが増えました。またインターネットの調べ学習で検索



ワードを教え合うなど、授業の中で自然に助け合う場面が増えました。ほめカードを継続して行うことで良いところを探するために友だちの様子を観察

するようになり、互いに良いところを知ることでプラスの言葉が増え、少しずつ互いに認め合い、以前より多くの場面で良い関わりが見えてきたように思えます。

初めはほめカードをたくさん書きたいという気持ちで参加し始めた子どもたちは、活動の中で友だちをよく観察し続け、良いところを見つける習慣ができました。この文章を書いた日も「着替え中にA君が廊下で待つ女子のために早く着替えるように注意してくれました。」と良い報告が届きました。これが私の30 days challengesです。(仁礼小)

編集後記

平成三十年度会報二二九号を発行し、無事にお届けすることができました。

今号では各学校で行なわれた音楽会やマラソン大会といった学校行事や地域の方々に関わった取り組みの様子を中心に取り上げました。子どもたちがいきいきと行事に取り組み、地域の方々と共に関わり合う姿が写真からもよく分かると思います。

紙面作成にあたり、お忙しい中ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。充実した内容をお届けできるよう今後も努めて参りたいと思います。(高木)



第229号
発行所 上高井教育会
発行人 上高井教育会理事長 北村 雅
編集人 会報編集委員長 宮坂 ゆかり
印刷所 須坂新聞社

なかよくほかほかつなぐ

井上小学校

井上小学校には三つの異学年交流体制があります。一つは全校を縦割りに分けた「なかよし班」、もう一つは「ほかほか学級」(いわゆる姉妹学級)、そして「登校班」です。多くの学校でも取り組んでいる活動ですが、何につけてもこれらの体制を活用するところが井上小らしさです。



カラフルなカエルさん

「なかよし班」は五月のなかよし旬間前に顔合わせを行います。編制は「ほかほか学級」のペアが同じ班になるのが基本です。あの機会でもこの機会でも顔を合わせて仲良くなれるように考えました。

「なかよし班」では、なかよし清掃をしたり、朝の活動時間に設けられる「なかよしタイム」で遊んだりします。また、音楽会のステージバックを20ある「なかよし班」で分担して製作

運動会の種目にも「なかよし班」で行う「ほかほかりレー」があります。ペアでボールを棒で挟んで走り、コーンを回って次のペアにバトンタッチする競技です。ペアの組み合わせは班長の腕の見せ所。どこが勝っても、思いやりの素敵な姿が満載です。

念写真を撮り六年生へありがとうメッセージを書いて、六年生を送る会の贈り物にしています。

「ほかほか学級」は一・六年、二・五年、三・四年の組み合わせで、学年単位で交流したり学級単位で交流したりしています。朝の交流も年五回計画されていますが、なによりも児童会の事業と関連させた取組が特長です。ほかほか給食やほかほか読み聞かせ、ほかほかクラスマツチなどもあります。



お兄さん、ありがとう!

一年生は図書館の使い方「ほかほか学級」で学びます。「なかよし班」でもいっしょの



井上小の活動を誇りに

ペアに手取り足取り教えてもらいます。花壇の花植や畑の栽培活動を「ほかほか学級」で取り組む場合もあります。

「なかよし班」や「ほかほか学級」の活動が活発に行われている背景には、無学年最高学年の子どもたちの努力と先生方の指導があります。が、毎日の登校班も、異学年が当たり前の

教育会だより

- 7 27 教育会夏期講演会
- 7 30 8 1 同好会夏期講座
- 8 21 教育学校代表者会
- 8 24 日本連合教育会研究大会
- 27 教育七団体代表者会
- 31 教育推進委員会
- 9 1 上高井教育研究会
- 4 研究推進委員会
- 7 同好会
- 12 理事会
- 10 2 教育推進委員会
- 12 研究推進委員会
- 14 同好会
- 16 教育会中間会計監査
- 20 21 郡市科学作品展
- 25 研究推進委員会
- 27 28 あゆみ展示会
- 29 上高井道徳教育協議会
- 11 7 理事会
- 8 研究推進委員会
- 9 同好会
- 14 公開授業研究会
- 中心講師 伏木久始先生
- 会場 日野小生活科・総合的な学習
- 国語(日野小) 社会(高山小)
- 算数(数学(小山小) 理科(礼小)
- 音楽(小布施中) 図工(美術(墨坂中)
- 体育(小山小) 技術(家庭(相森中)
- 外国語活動(英語(高井小)
- 道徳(特別活動(高井小)
- 特別支援教育(高山小)
- 健康教育(教育会)
- 15 信教全県研究上水内大会
- 20 教育会総会
- 22 県書写道教育研究大会
- 30 同好会
- 12 4 研究推進委員会
- 20 研究委員長会
- 21 上高井教育会報第229号発行